

「うちどく」通信～2018.8～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕



**1年 ひな 『おこりじぞう』山口勇子 Eヤ 聞いた人：お母さん**  
 ひな：さいごに、おじぞうさまがおんなのこにみずをあげたのですごくやさしかったです。  
 お母さん：戦争は、本当にあっちはいけないことだと思います。子ども達も、とても真剣に本を見ていました。

**1年 いずみ 『ねずみくんのチョコッキ』なかえよしを Eナ 読んだ人：お母さん**  
 いずみ：ぞうがチョコッキをきたところが、むりしてきていておもしろかったです。  
 お母さん：私が子どものころにもよく読んでもらった本でした。くり返しのある表現が、子どもが好きな本だなと思いました。

**2年 はんな 『ゆうたのおかあさん』きたやまようこ (ちいさいえほん) Eキ 読んだ人：お母さん**  
 はんな：お母さんのとくちょうがいっぱいあっておもしろかったです。  
 お母さん：お母さんの日常の行動を、犬目線で皮肉まじりにおもしろおかしく書いてあり、共感する部分に思わずクスリとしてしまいました。

**2年 こうへい 『さるかに』松谷みよ子 Eマ 聞いた人：お母さん**  
 こうへい：さるがいじわるだったから、たくさんのかにからやっつけられておとなしくなってよかったです。  
 お母さん：かにが楽しみにしていた柿の実をまだ青いのにもむりにもぎとったので、かにの大群にやっつけられて当然と感じました。

**3年 そうま 『クワガタムシ』高家博成 48ソ 聞いた人：お母さん**  
 そうま：ぼくがクワガタの絵本を読んで思ったことは、ぼくの家でかっているクワガタの名前を知らなかったの、この本を読んでヒラクワガタだと書いてあったのでよかったです。  
 お母さん：クワガタのオスが持つりっぱなツノは、実はアゴがのびたものだと初めて知りました。我が家のクワガタも、この本を読んで特徴が分かったのでよかったです。

**3年 りょうご 『あまのじゃくなかえる』イ・サンベ Eイ 聞いた人：お母さん**  
 りょうご：かえるが、お母さんが「西へ行きな」と言ったら東に行き、「東にお行き」と言ったら西へ行ったのでおもしろかったです。  
 お母さん：なき声まで反対に言っていたのでおもしろかったです。でも、お母さんがなくなったときは、お母さんが言ったように死体をうめて、そのあとお母さんが流れないようにずっと見守っていたところがかわいそうでした。

**4年 りんか 『となりのまじよのマジョンナさん』ノーマン・ブリッドウェル Eフ 聞いた人：お母さん**  
 りんか：マジョンナさんは、みんなにやさしくていつも楽しくしてくれてお母さんみたいでした。わたしの家にもまじよがいたらいいなと思いました。  
 お母さん：マジョンナさんはいつも楽しそうです。

**4年 ゆうた 『ドラキュラば～ちゃん』ささきみお Eサ 聞いた人：お母さん**  
 ゆうた：ドラキュラでも虫歯になることがあるんだなと思いました。  
 お母さん：ドラキュラでも虫歯になるとは…ゆうたにも歯みがきは大事だねと話しました。

【8/27 提出分】

提出数/人数 (欠席)		提出数/人数 (欠席)	
1年	17/17 ☆GOOD☆	4年	19/21 (1)
2年	23/23 ☆GOOD☆	5年	24/25
3年	18/19 (1)	6年	17/20 (1)
		全校	118/125 (3)



**5年 ひな 『化石をみつけた少女』キャサリン・ブライトン Eフ 聞いた人：お母さん**  
 ひな：頭の大きさと全体の大きさがわかるのはすごいなと思いました。6メートルもある化石を一人でほり出してはこんでいたのですごいなと思いました。わたしも化石を見つけてみたいなと思いました。  
 お母さん：化石を見つけれたら、長い地球の歴史を感じられるのかなと思います。どこかの地中や山中、岩の中にうまっていると思うとワクワクします。

**5年 たいせい 『ヘレン・ケラー』柳川創造 28ア 聞いた人：お母さん**  
 たいせい：ヘレン・ケラーは、話せない、聞こえない、見えないという3つのしょうがいがありながら、話し方をおぼえていったからとてもびっくりしました。  
 お母さん：ヘレン・ケラーは、サリバン先生との出会いで大きく人生が変わりました。サリバン先生のヘレンケラーに対する愛は、とても大きなものと感じました。

**6年 さやか 『馬の耳に念仏』はたこうしろう Eハ 聞いた人：お母さん**  
 さやか：私の知らないことわざばかりであまり意味が分からなかったけど、少しおぼえたのでよかったです。おもしろかったです。  
 お母さん：いろんなことわざを絵本にしておもしろい本でした。生活していく中で、たくさんのことわざをすらすら使いこなしてほしいです。

**6年 ちひろ 『ママのスマホになりたい』のぶみ 聞いた人：お母さん**  
 ちひろ：もしも、わたしのママがわたしのことを見ず、スマホばかり見ていたら悲しくなります。なので、もしわたしがお母さんになったらちゃんと子どものことを見てあげたいです。  
 お母さん：嫉妬の対象がスマホなんて悲しいなあ。でも、今の子ども達は一度は感じたことがあるかもしれません。大人にも読んでほしい本です。